

手術、検査等における抗血栓薬の推奨休薬期間

	一般名	先発品名	後発品名	推奨休薬期間
①	アスピリン	アスピリン	ゼンアスピリン バイアスピリン	7日以上前
	アスピリン・ ダイアルミネート	バファリン	アスファネート イスキア ニトギス バッサミン ファモター	
	アスピリン・ランソプラゾール	タケルダ		
②	プラスグレル塩酸塩	エフィエント		14日以上前
③	アピキサバン	エリキュース		低リスク1日以上前 (中～高リスク2日以上前)
④	イコサペント酸エチル	エパデール	イコサペント酸エチル エバキャップ エバラ エバロース ソルミラン ナサチーム メルブラール	7～10日以上前
⑤	イフェンプロジル酒石酸塩	セロクラール	アポノール イフェンプロジル	2日前
⑥	オメガ3脂肪酸エチル	ロトリガ		7～10日前
⑦	クロピドグレル硫酸塩	ブラビックス	クロピドグレル	14日以上前
	クロピドグレル・アスピリン	コンブラビン		14日以上前
⑧	サルボグレラート塩酸塩	アンブラーグ	サルボグレラート	1日前
⑨	ジピリダモール	ベルサンチン(-L)	ジピリダモール ヨウリダモール	1日前
⑩	ジラゼブ塩酸塩	コメリアンコーワ	ジラゼブ	3日前
⑪	シロスタゾール	プレタール	コートリズム シロシナミン シロスタゾール シロスレット	2～4日前
			プレトモール ホルダゾール	
⑫	ダビガトラン	プラザキサ		1日前 (大手術 2日以上前)
⑬	チクロピジン塩酸塩	パナルジン	チクロピジン マイトジン	10～14日前
⑭	チカグレロリ錠	プリリント錠		5日前
⑭	ヘパリンナトリウム	ヘパリンナトリウム		4～6時間前
⑮	ベラプロストナトリウム	ケアロードLA	ベラプロストNa	1日前
		ベラサスLA		
		ドルナー		
		プロサイリン		
⑯	リマプロストアルファデクス	オバルモン	リマプロストアルファデクス	1日前
		プロレナール		
⑰	エドキサバントシル酸塩	リクシアナ		1日以上前
⑱	リバーロキサバン	イグザレルト		1日以上前
⑲	ワルファリンカリウム	ワーファリン		2～4日前
		ワルファリンカリウム	ワルファリンK	

下線は、当院院内採用品

ア行		
①	アスピリン	7日以上前
①	アスファネート	7日以上前
⑤	アポノール	2日前
⑧	アンブラーグ	1日前
⑱	イグザレルト	1日以上前
④	イコサペント酸エチル	7～10日以上前
①	イスキア	7日以上前
⑤	イフェンプロジル	2日前
④	エバキャップ	7～10日以上前
④	エパデール	7～10日以上前
④	エバラ	7～10日以上前
④	エバロース	7～10日以上前
②	エフィエント	14日以上前
③	エリキュース	低リスク1日以上前(中～高 リスク2日以上前)
⑯	オバルモン	1日前
カ行		
⑦	クロピドグレル	14日以上前
⑮	ケアロードLA	1日前
⑪	コートリズム	2～4日前
⑩	コメリアンコーワ	3日前
⑦	コンブラビン	14日以上前
サ行		
⑧	サルボグレラート	1日前
⑨	ジピリダモール	1日前
⑩	ジラゼブ	3日前
⑪	シロシナミン	2～4日前
⑪	シロスタゾール	2～4日前
⑪	シロスレット	2～4日前
⑤	セロクラール	2日前
①	ゼンアスピリン	7日以上前
④	ソルミラン	7～10日以上前

タ行		
①	タケルダ	7日以上前
⑬	チクロピジン	10～14日前
⑮	ドルナー	1日前
ナ行		
④	ナサチーム	7～10日以上前
①	ニトギス	7日以上前
ハ行		
①	バイアスピリン	7日以上前
①	バッサミン	7日以上前
⑬	パナルジン	10～14日前
①	バファリン	7日以上前
①	ファモター	7日以上前
⑫	プラザキサ	1日前 (大手術 2日以上前)
⑦	ブラビックス	14日以上前
⑭	プリリント錠	5日前
⑪	プレタール	2～4日前
⑪	プレトモール	2～4日前
⑮	プロサイリン	1日前
⑯	プロレナール	1日前
⑭	ヘパリンナトリウム	4～6時間前
⑮	ベラサスLA	1日前
⑨	ベルサンチン(-L)	1日前
⑮	ベラプロストNa	1日前
⑪	ホルダゾール	2～4日前
マ行		
⑬	マイトジン	10～14日前
④	メルブラール	7～10日以上前

ヤ・ラ・ワ行		
⑨	ヨウリダモール	1日前
⑰	リクシアナ	1日以上前
⑯	リマプロストアルファデクス	1日前
⑥	ロトリガ	7～10日前
⑱	ワーファリン	2～4日前
⑱	ワルファリンK	2～4日前
⑱	ワルファリンカリウム	2～4日前

上記の休薬期間は、あくまでも目安とする。

出血時間、プロトロンビン時間の確認を行い、患者の状態や手術、検査、処置による侵襲、出血の程度などを考慮し、総合的に判断すること。

また、投与を中止することにより疾患に悪影響を及ぼす危険性もあることから、症状を確認の上、休薬期間を設定すること。

2018年7月作成
薬剤部・医療安全管理室